

業種別ガイドライン 取組状況一覧 【目標及び今後の取組】

1. 鉄鋼業	最終処分量をH10年度比でH22年度に50%削減
2. 紙・パルプ製造業	最終処分量をH10年度比でH22年度に57%削減
3. 化学工業	最終処分量をH10年度比でH22年度に75%削減
4. 板ガラス製造業	最終処分量をH10年度比でH22年度に42%削減
5. 繊維工業	汚泥等の減量化に向け、中間処理の強化・リサイクル用途拡大を促進する。
6. 非鉄金属製造業	最終処分量削減目標(H10年度比、H22年度目標) 日本鋳業協会:37%、日本伸銅協会:76%、日本アルミニウム協会:14%、 日本アルミニウム合金協会:10%、日本電線工業会:50%
7. 電気事業	H22年度最終処分率をH16年度と同程度に維持(H16年度最終処分率:約8%)
8. 自動車製造業	最終処分量をH10年度比でH22年度に87%削減
9. 自動車部品製造業	生産工程から生じる廃棄物の最終処分量をH10年度比でH22年度までに96%削減
10. 電子・電気機器製造業	最終処分量をH15年度比でH22年度に5%削減
11. 石油精製業	最終処分量をH2年度比でH22年度に67%削減
12. 流通業	包装材使用量をH12年比でH22年に25%削減 レジ袋使用量をH12年度比でH22年度に35%削減
13. リース業	製品の処理実態等を把握し、効率的なリサイクル等の推進するため、問題点の解決に向け検討中
14. セメント製造業	セメント1トン当たりの廃棄物・副産物利用量のH22年度目標を400kgとする。
15. ゴム製品製造業	最終処分量をH13年度比でH22年度に45%以上削減
16. 石炭鋳業	最終処分量をH10年度比で80%以上削減
17. ガス業	最終処分量をH10年度比でH22年度に25%削減
18. 工場生産住宅製造業	生産段階廃棄物発生量をH13年度比でH22年度に80%以上削減

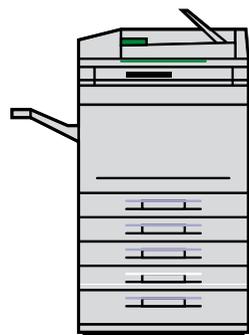
※着色部分の業種については資源有効利用促進法で指定

産業構造審議会 環境部会 廃棄物・リサイクル小委員会
基本政策WG 提示資料

3R法(資源有効利用促進法)への
JBMIA (複写機業界)の自主的取り組み状況

2007年4月5日

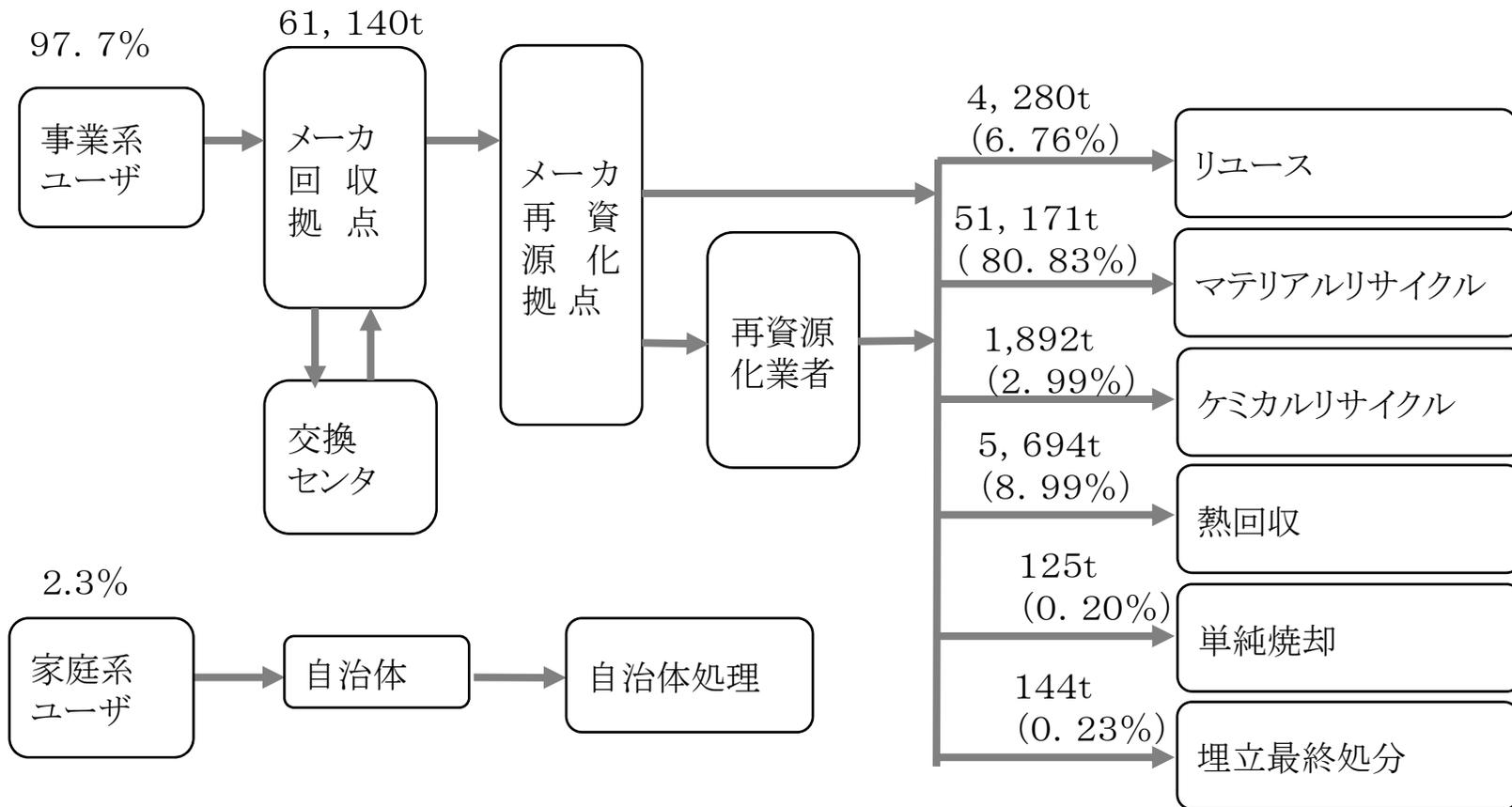
JBMIA 複写機・複合機部会 部会長 齊藤 穰



社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
Japan Business Machine and Information System Industries Association

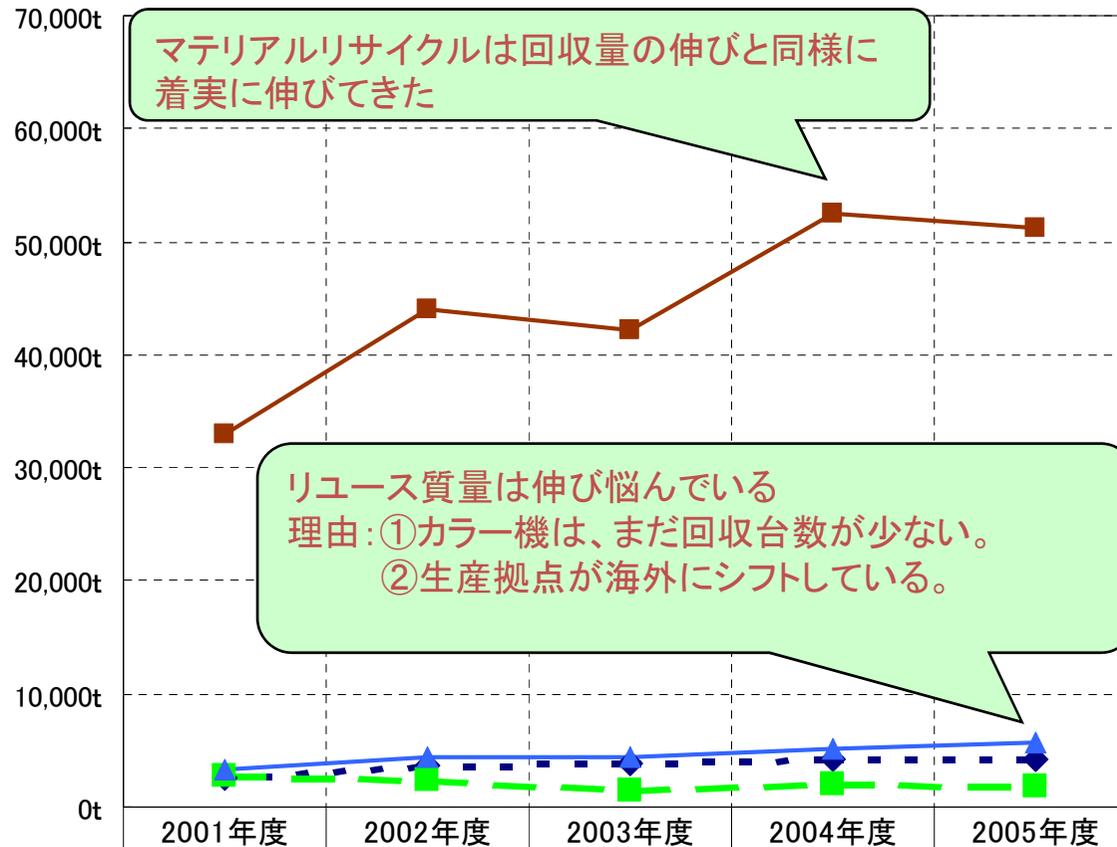
回収リサイクルのフロー

2005年度の実績調査結果



- ・使用済み複写機のほとんど(事業系比率97.7%)は、販売のルートを通してメーカーへ回収されている。
- ・回収されているほとんどが有効にリサイクルされている。

リサイクル質量の内訳の年度別推移



◆ - リユース質量	2,631	3,594	3,867	4,164	4,280
■ - マテリアルリサイクル質量	32,901	44,081	42,194	52,412	51,170
■ - ケミカルリサイクル質量	2,793	2,356	1,512	1,982	1,892
▲ - 熱回収質量	3,354	4,493	4,368	5,211	5,694

ぱちんこ遊技機・回胴式遊技機製造業の 資源有効利用促進法における3Rへの 取組状況及び進捗状況について

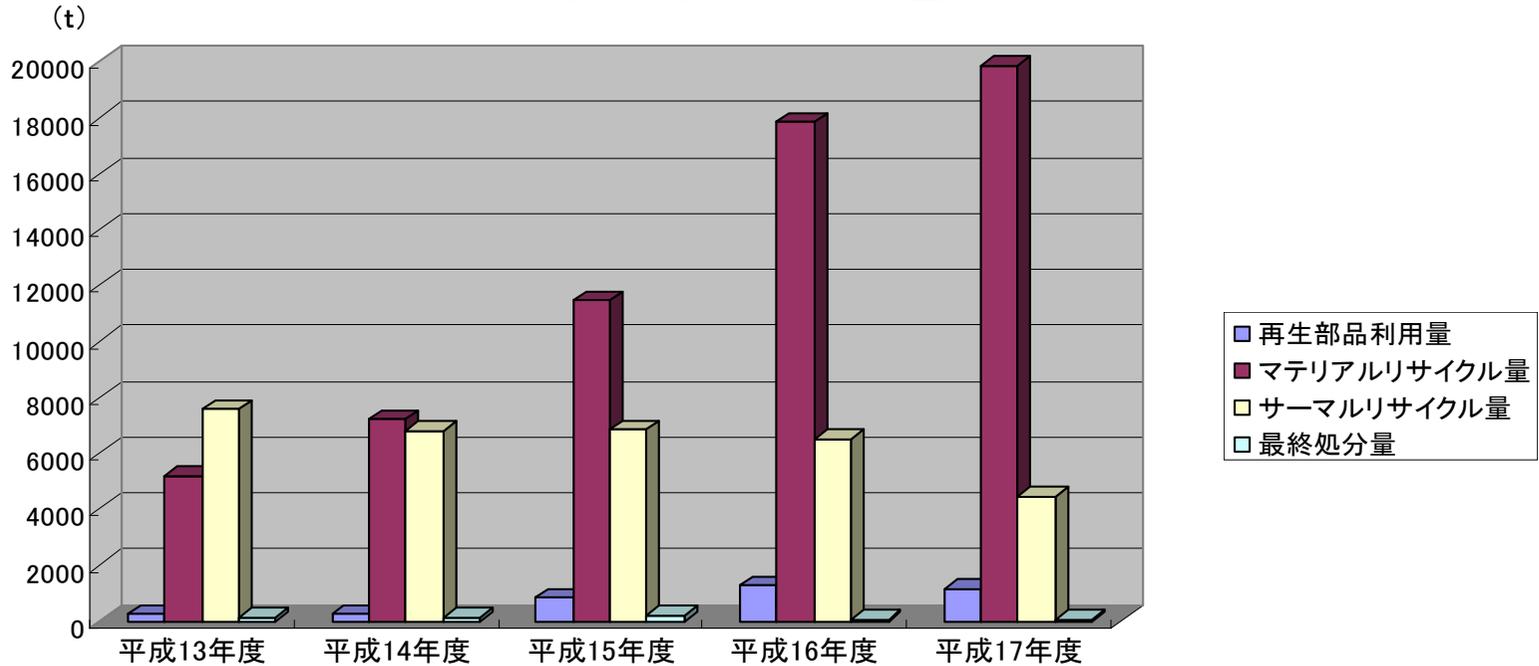
2007. 3. 1

日本遊技機工業組合、日本電動式遊技機工業協同組合

回収・リサイクルの取組

ぱちんこ遊技機のリサイクル処理状況

ぱちんこ遊技機のリサイクル量

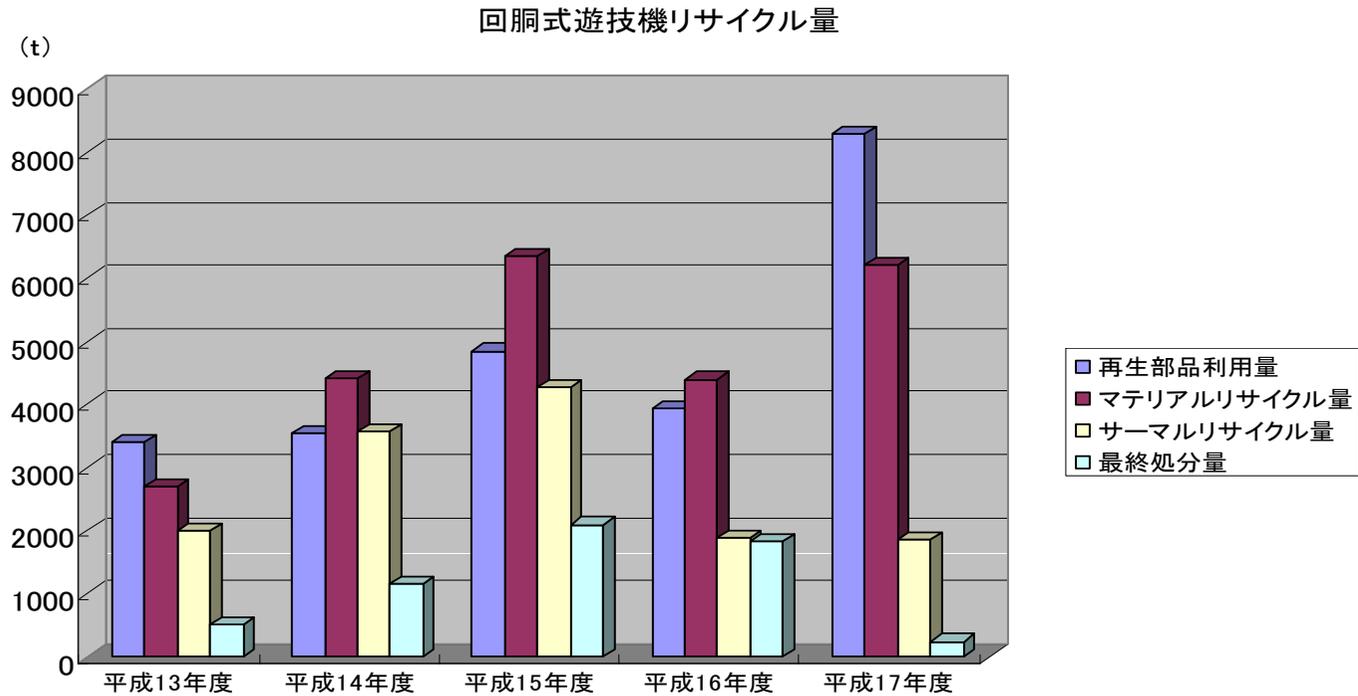


		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
処理量(t)		13171.4	14418.1	19325.8	25718.7	25563.5
	再生部品利用量	249.3 (1.89%)	257.9 (1.79%)	817.4 (4.23%)	1283.5 (4.99%)	1164.1 (4.55%)
	マテリアルリサイクル量	5199.4 (39.4%)	7222.8 (50.1%)	11475.6 (59.3%)	17841.3 (69.3%)	19863.8 (77.7%)
	サーマルリサイクル量	7588.9 (57.6%)	6797.2 (47.1%)	6832.0 (35.4%)	6514.0 (25.3%)	4467.3 (17.5%)
	最終処分量	133.8	140.2	200.8	79.9	68.3

(処理量はメーカーによる処理分を示す)

回収・リサイクルの取組

回胴式遊技機のリサイクル処理状況



	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
処理量(t)	8596.6	12698.0	17566.0	12075.0	16613.0
再生部品利用量	3398.4 (39.5%)	3555.0 (27.9%)	4850.2 (27.6%)	3942.2 (32.6%)	8294.0 (49.9%)
マテリアルリサイクル量	2694.4 (31.3%)	4414.0 (34.8%)	6354.4 (36.1%)	4402.1 (36.5%)	6212.0 (37.3%)
サーマルリサイクル量	1994.8 (23.2%)	3574.0 (28.1%)	4266.5 (24.2%)	1892.3 (15.7%)	1863.0 (11.2%)
最終処分量	509.0	1155.0	2094.9	1838.4	244.0

(処理量はメーカーによる処理分を示す)

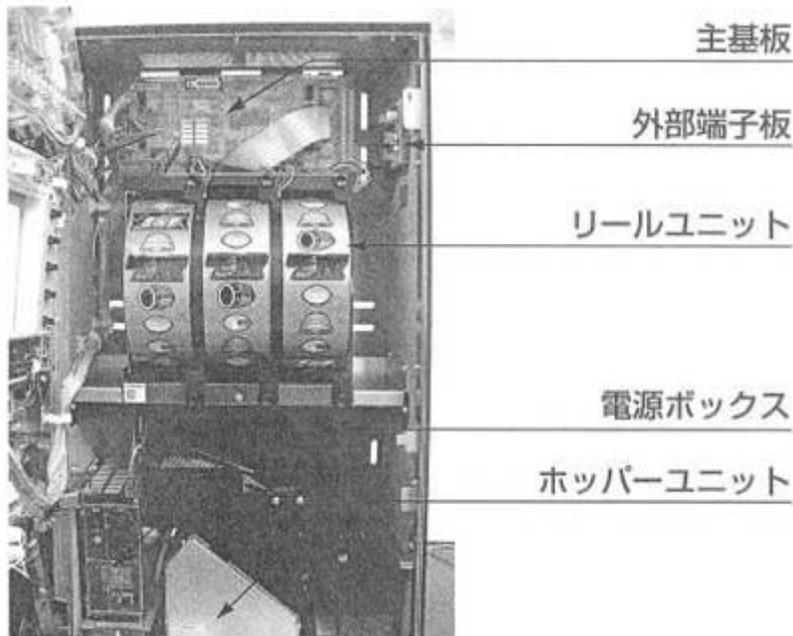
資料: 日本電動式遊技機工業協同組合

回収・リサイクルの取組

【使用済み回胴式遊技機の処理形態】

回胴式遊技機の部品の再利用

回胴式遊技機の各部の名称



再利用可能な部品

		平均重量(kg)
リールユニット	図柄を表示する回転体と駆動装置	4.50
ホッパーユニット	遊技メダルを収納する容器と払い出し装置	2.50
電源ボックス	遊技機の電源装置	1.80
ハーネス	基板同士を接続するための配線	2.50
キャビネット	遊技機の筐体	11.80
フロントドアユニット	遊技機の前面ドア部分	10.40

マテリアルリサイクルについては、ぱちんこ遊技機と同様に処理されている。

資料: 日本電動式遊技機工業協同組合